

寒さも一段と厳しくなった2月連休の中日に里山部会を開催。昨年10月に竹林整備を行い、その後、竹の乾燥状態も良く、予定通り竹炭を作成しました。竹炭班は7時30分に集合、8時から火入れを行い、北田夫婦が担当、見学で山本薫・中村・岩田、火が落ち着いたところでコーヒーを飲みながら炭の話などを聞きました。



コクワガタ シイタケ樽木の補修:山本薫、鎌田

9時になり、朝のミーティングを済ませて作業開始。鎌田・原畠・恵木・戸田・山田・中村・山本薫・岩田がフィールド内にある2箇所の椎茸のコマ場の支え木の補修と、昨年3月にコマを打ち保管していた^{ほたき}楳木をコマ場に移動しました。その後、落葉肥料囲いの中に米糠を入れて攪拌し、その上に落葉を入れ、その後、フィールド内の枝を棚積みしました。この時、冬眠中のコクワガタを発見、そっと元に戻し環境整備を続行しました。昼食には、持参したお弁当と北海道産の白い小豆を煮て餅入りぜんざいを頂き午後の作業に入りました。作業は15時に一旦終了。



落葉入れ:左:山田、右:戸田

引き続き、竹炭作成に北田夫婦・鎌田・山田・中村・山本薫・岩田で釜を見守りながら、火消しまでの時間を、焚火を囲んで先輩たちの経験談や個人の現役時代の話を聞き、お茶とお菓子を頂きながら時間を過ごしました。その後、釜から出る煙の色が変わったので火口を閉じ、16時30分に火消しを行い帰路に着きました。釜開けは、次回の里山部会3月10日に行う予定です。



炭焼きの記録：2班 北田正仁



7時30分	フィールド到着。北野さんすでに到着。火付けの準備
8時	火入れ。中の竹が十分に乾燥しているようで、すぐに竹に火が付く。
8時30分	竹酢液採取開始
～12時	主に大きめの薪を入れ火を絶やさないようにして作業を行なう。主に北野さん作業
14時	煙の量が少なく色も薄くなってきたので、竹酢液の採取を修了。約3リットル採取 ～ここから勝負！！～ 煙の量や色、湿り気を手のひらで時々確認しながら、小さ目の薪や古い竹を火を絶やさないように維持。
15時	煙の量が少なくなり、少し色も薄くなってきたので窯を閉じる準備を行う。 赤土を金網で漉して水を加え粘土状にする。
16時	やっと煙の色がさらに薄くなる。湿り気まだ残る。
16時30分	湿り気がほぼなくなってきた。煙の色は完全に透明になっていなかったが、窯を閉じる。 火口のおきを奥に入れ、煉瓦、粘土、砂で火口と周りを完全に塞ぎ、煙突も塞ぎ完了 最後まで、5名の方に付き合っ頂き感謝！！